

生きづらさを抱える生徒たち ～学校でできるかかわり～

定員：80名

参加費
無料

近年、青少年の身近にある依存の問題については、大麻や市販薬の乱用、インターネットやゲームの使用など、幅広い分野へと広がっており、その背景には、さまざまな生活上の困難や生きづらさが隠れていると言われています。

本研修では、依存症の基礎知識について理解を深め、生きづらさを抱える生徒へのかかわりについてグループワークを通じて考えます。

日時 12月4日（水曜日）13:15～16:30（受付12:45～）

場所 マイドームおおさか 8階 第1・第2会議室
（大阪府中央区本町橋2-5）



会場へのアクセスはこちら

● 体験談 「非行、薬物、自傷行為、問題行動の背景にあったもの」

発表者：リカバリハウスいちご 渡邊 洋次郎 氏

万引きなどの非行やアルコール・薬物への依存から、精神科病院への入院や刑務所での服役の経験を経て、現在依存症の回復施設で依存症の方の支援に携わっている渡邊さんからは、少年時代に感じていた生きづらさや学校への思い、また依存症からの回復などの体験談をお話いただきます。

● 講義 「生きづらさを抱える生徒と依存症」

講師：大阪人間科学大学 心理学部 特任教授 野田 哲朗 氏

東布施野田クリニックの院長でもある精神科医の野田先生は、大学保健管理センターで多くの学生のメンタルケアや治療にも携わっています。本研修では、依存症の基礎知識に加え、生きづらさを抱える生徒に対して学校の先生方ができるかかわりについて事例を交えながらお話いただきます。

● グループワーク

※ 本研修は、体験談と講義を収録し、後日、限定配信で公開予定です。

対象 大阪府内の高等学校、支援学校高等部、高等専修学校、大学等の教職員等

申込 研修案内ページ内にある申込フォームか下記の二次元コードよりお申込みください。
「こころのオアシス」<http://kokoro-osaka.jp/>

依存症予防教育 → 第2回依存症予防教育教職員向け研修

締切：11月29日（金曜日）17時まで



申込フォーム

大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課 担当：池田・引地

TEL：06-6691-2818 FAX：06-6691-2814

E-mail：kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp

問合せ先